

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2727
部名	経済部	課名	産業振興課	課長名	高部 博
事務事業名	産業振興ビジョン推進事業				
予算上の事務事業名	産業振興ビジョン推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31110		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第1節 活力ある産業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 総合的な産業振興施策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 審議会・委員会・協議会 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
本市の産業振興政策の基本となる産業振興ビジョンを効果的に推進するため学識経験者等の専門家から意見を聴取し、活力ある産業活動への展開へ結びつける					
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
社会情勢や経済情勢の変化から、産業振興ビジョンのあり方の検証を行うとともに、本市産業の課題や可能性を検討し、今後の本市産業の方向性を協議するため「さがみはら経済懇話会」の設置を検討した					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	174	55	0	495	495
一般財源	174	55	0	495	495
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	200	200	200	200	200
事業コスト合計(a)	374	255	200	695	695
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	産業振興ビジョン推進事業			対象名称(単位)	回数
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	374	255	200	695	695
対象数	2	1	4	2	2
単位あたり経費(円)	187,000	255,000	50,000	347,500	347,500
前年度比		1.36	0.20	6.95	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	回数	指標式と指標の説明		検討回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	2.0	1.0	4.0		
目標	2.0	1.0	4.0	2.0	2.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	回数	指標式と指標の説明		検討回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	2.0	1.0	4.0		
目標	2.0	1.0	4.0	2.0	2.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
〔 〕：良好な状態を維持する事業					
〔 〕：概ね良好な状況である事業					
〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		産業振興ビジョン自体が平成8年3月に完成されたのでビジョンそのものの存在等を含めた検討が必要である。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
産業振興ビジョンのあり方等も含め、今後の産業の目指す方向を検討するために経済懇話会を開催する。			経済状況の変化に適時に対応しながら、経済界や市民団体とビジョンを共有し、実効性のあるものとする。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		産業振興ビジョンについて見直しを行う。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			